



∞ 関屋っ子の可能性は無限大 ∞

令和8年4月14日号

関屋小だより

校長 佐藤 幸代

健康で明るい子

進んで行動できる子

よく考える子

心に魔法の種を植えよう

みなさんは「詩」は好きですか？わたしは大好きです。詩を読むと、心が喜ぶのを感じます。声に出して読んでみると、自分のまわりの世界が少し違って見えることがあります。それが「ことばの魔法」です。今日は、「ぞうさん」の詩で有名な「まどみちお」さんの詩を紹介します。ぜひ声に出して読んでみてくださいね。

ぼくが ここに

ぼくが ここに いるとき

ほかの どんなものも

ぼくに かさなって

ここに いることは できない



もしも ゾウが ここに いるならば

そのゾウだけ

マメが いるならば

その一つぶの マメだけ

しか ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんなに だいに

まもられているのだ

どんなものが どんなところに

いるときにも

その「いること」こそが

なににも まして

すばらしいこと として

(まどみちお詩集『ぼくがここに』1993年刊 童話屋)

※図書室にある「元気が出る詩」の中にもこの詩がのっています。探してみてくださいね。

人生万事塞翁が馬 (じんせいばんじさいおうがうま)

始業式で、昔の中国に伝わる、塞翁(さいおじいさん)の馬のお話をしました。「翁」というのは「おきな」とも読み、おじいさん、という意味です。)塞おじいさんの馬のおかげで、息子さんが戦争に行かなくてすんで命拾いをしたり、馬が逃げてがっかりしていたら、雌馬を連れて帰ってきたり。うれしいどんでん返しか待っていたなんて、驚きですね。(昔の中国の出来事からできた言葉を^{こしせいご}故事成語といいます。)

私たちの毎日の生活の中にも、「大ピンチだ、と思ったら実は大チャンスだった。」なんてことがあるかもしれません。「ピンチはチャンス」という言葉もあるように、すべては考え次第。新しいクラスでの毎日、何事も楽しむ気持ちをもって、生活してみましよう。

そして、今年のスローガンも「関屋っ子の可能性は無限大！」自分には無理かも、と思ったときには「できる」の魔法言葉を8回唱えよう。というお話をし、みんなて魔法言葉を8回元気に唱えました。今年は今和8年。8を横にすると∞(無限大)のマークになります。今年魔法言葉の威力も無限大になるに違いない、と思っています。



優しい心が満開です

1年生が入学して1週間がたちました。登下校の時には、1年生の歩く速さに合わせてゆっくり歩いてくれたり、転んだ1年生を助けたり、荷物を持ってあげたりと関屋っ子のやさしさがたくさん見られて毎日とてもうれしいです。この前は2年生の子が、1年生の荷物を持ってあげていました。去年まで1年生だったのに、もうすっかり頼れるお姉さんになっていることに感動しました。そんな1年生は、とってまががんばっていることがあります。それはトイレのスリッパをそろえること。1年生みんなががんばって、トイレのスリッパをそろえています。自分から進んでそろえてくれる人がいて感心しています。やさしい心、がんばる心がいっぱいですね。